

なすしおばら

令和2年4月20日発行

第81号



社協だより



今回の表紙は、市民やボランティアの方の作品です。



那須塩原市社協
QRコード

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。
詳しくは社協総務課までご連絡ください。



令和2年度事業計画

基本方針

全国的に少子高齢化が進み単身世帯の増加や核家族化による社会的孤立者、生活困窮者の増加など福祉ニーズはますます多様化・複雑化しています。こうした中、地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の役割は一段と大きくなります。本会では地域福祉活動計画を基に地域の課題、困難な福祉ニーズを解決すべく新たな仕組み作りとしての地域共生社会を目指し、地域の福祉力を高める支援を全力で行います。

これまで以上に行政や関係団体、企業等との連携強化を図り、その実現に向けて以下の6つの重点目標を掲げ、各事業を展開してまいります。



重点目標

1 地域福祉活動計画の推進

地域における様々な福祉課題を解決するために、市民や関係団体と連携を図りながら「地域福祉活動計画」を実行してまいります。

あわせてこの計画の主役である市民や関係機関の本計画に対する理解を深めるようホームページやその他様々な機会を通じて本計画の周知を図ってまいります。また、計画・実行・評価・見直しを繰り返すPDCAサイクルの考えのもと、「那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」とともに、計画における各取り組みの進捗状況について評価し、計画を実行します。また、次期計画の策定をすすめます。

2 地域住民助け合い事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、市民による見守りや生活支援等の助け合いによる地域づくり及び緊急時や災害時に適切に助け合える体制の構築を図るとともに、高齢者の社会参加の促進のため、高齢者自身が助け合いの担い手として活躍できる地域づくりを推進します。

令和2年度は、15ヶ所の公民館エリアで見守り活動などの仕組みづくりを支援します。



3 ボランティアセンターの運営強化

ボランティアセンター本所とボランティアセンター黒磯で、「地域に開かれた存在」としてボランティアの育成、ボランティア団体の活動支援、連絡調整、情報提供などを行い市内のボランティア活動の活性化を図ります。



4 福祉サービス利用を支援する事業の充実

日常生活自立支援事業、生活困窮者自立相談支援事業、指定特定相談・障害児相談支援事業を推進し、要支援者が地域で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と連携を図りながら、要支援者に寄り添い課題解決に向けて支援します。

5 社協発展強化計画の推進

平成31（2019）年度から実施する発展強化計画に基づき、地域福祉活動計画を実現させ、より一層の地域福祉推進に努めます。



6 社会福祉協議会の理解の促進

ひとりでも多く市民や事業所等に本会の活動に賛同していただけるよう地域福祉事業やボランティア推進事業の充実を図り、普通会员をはじめ、特別会員、施設会員の加入促進に努めます。



令和2年度予算

(単位：千円)

○収入

勘定科目（大）		予算額
事業活動による収支	会費収入	12,808
	寄附金収入	3,018
	経常経費補助金収入	192,275
	受託金収入	79,096
	貸付事業収入	3,344
	事業収入	4,865
	負担金収入	452
	介護保険事業収入	30,865
	就労支援事業収入	9,566
	障害福祉サービス等事業収入	128,104
	受取利息配当金収入	646
	その他の収入	2,040
その他の活動による収支	基金積立資産取崩収入	30,800
	積立資産取崩収入	160
	事業区分間繰入金収入	4,655
	拠点区分間繰入金収入	4,942
	サービス区分間繰入金収入	41,265
前期末支払資金残高		3,103
合 計		552,004

○支出

勘定科目（大）		予算額
事業活動による収支	人件費支出	340,484
	事業費支出	12,264
	事務費支出	50,194
	就労支援事業支出	9,566
	貸付事業支出	3,344
	共同募金配分金事業費	8,856
	助成金支出	13,223
	負担金支出	150
施設整備等による収支	ファイナンス・リース債務の返済支出	813
	基金積立資産支出	22,213
その他の活動による収支	積立資産支出	17,277
	事業区分間繰入金支出	4,655
	拠点区分間繰入金支出	4,942
	サービス区分間繰入金支出	41,265
	その他の活動による支出	12,728
予備費支出		10,030
合 計		552,004

まごころありがとうございます

次の方々からあたたかい寄付をいただきました。

令和2年1月1日～2月29日寄付分

〔（ ）の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ

狩野地区自治会長会	(2回目)	2,991円
株式会社ケンサイ	(1回目)	5,000円
株式会社伊藤園那須支店	(5回目)	2,157円
建築子会	(1回目)	24,951円
黒磯地区婦人会	(23回目)	5,000円
ちりめん細工ひなの会	(1回目)	5,735円
Lista12	(5回目)	10,000円
匿名	(6件)	31,621円

交通遺児基金へ

那須塩原フライングディスク協会	(73回目)	4,500円
ブリヂストン労働組合栃木支部	(32回目)	50,000円

福祉協力店の募金箱（3件）

1,837円

株式会社テトテ／クリーニングおおもり本店
／クリーニングおおもり上厚崎店
このお金は福祉基金に繰り入れられます

善意銀行へ

ZAPP西那須野	(114回目)	お菓子11箱
西赤田7班	(2回目)	タオル123枚
ガイアらくらく館黒磯店	(56回目)	お菓子1箱
稲沢真由美	(1回目)	ひな人形
コーヒーカップ&虹の会	(14回目)	車いす2台
ニラク大田原加治屋店	(197回目)	お菓子8箱
北関東雪印メグミルク協会	(1回目)	車いす1台
ZAPP黒磯	(117回目)	お菓子8箱
南地区コミュニティ推進協議会	(16回目)	ウエス17箱
森永牛乳県北ミルクステーションD&H	(6回目)	タオル220枚他
大田原法人会西那須野支部女性部	(3回目)	タオル847枚他
八木沢ふみ子	(10回目)	ベビー服等47点

匿名（3件） 紙おむつ8袋、米15キロ、
石鯀67個、タオル61枚他

いつも
ありがとう
ございます



大田原法人会
西那須野支部女性部 様



コーヒーカップ&
虹の会 様



南地区コミュニティ
推進協議会 様



北関東雪印メグミ
ルク協会 様



第14回那須塩原市社会福祉大会

主催：那須塩原市社会福祉協議会、那須塩原市

1月25日(土)三島ホールにおいて「第14回那須塩原市社会福祉大会」が開催されました。

第1部式典では、永年にわたり社会福祉の増進に貢献された個人・団体や篤行・善行児童生徒、高額寄付者等へ表彰状並びに感謝状贈呈が行われました。

また第2部講演では、俳優の八名信夫さんより、「～楽しい老後のススメ～笑顔とあいさつそして・・・」と題し講演会を行いました。プロ野球選手としてまた俳優で培った経験を基に高齢になっても楽しく過ごすには笑顔で明るいあいさつ、そして健康な体が大切であるなど約1時間半に渡り、お話をいただきました。来場者は八名さんの話に聞き入り、盛況なうちに終了することができました。



▲式典の様子



▲講演会の様子

那須塩原市社会福祉協議会会長表彰

(敬称略・50音順)

【社会福祉功労者】(51名)

石崎 良子	加藤 政雄	後藤 春導	瀬尾 泰三	増淵キミエ
伊藤 市男	金子影美子	小針とし子	相馬 和子	松本加代子
井上 勇	金田 隆一	斉藤 一清	高久 佳子	三宅 幸子
薄葉 初枝	川又 浩	齋藤 武夫	高塩 道子	室井 浅吉
枝 陽子	菅野 美子	酒井ユリ子	津久井久子	山口 映
大武 好子	菊池喜美子	澤田セイ子	中山 トヨ	鎗田ミヨ子
大野百合子	菊地 信子	澤 保美	根岸 範子	渡邊 良子
奥原 清子	木村 紀子	三本木忠二	人見 政博	
小原 禮子	小林 欽吾	鈴木 順子	平松百百子	
鏡 由美子	小林 俊夫	鈴木由美子	藤田はるみ	
角田 安正	小林 葉子	須藤 裕幸	藤原キミ子	

【社会福祉功労団体】(1団体)

第3長寿会

【社会福祉団体の功労者】(5名)

大木 悦子	吉成 優子
谷 信子	渡部 澄江
成田 陽厚	

【自立更生者】(2名)

星 末吉：前川久美子

【長期介護者】(6名)

新巻美智代	黒谷 勝子
池澤美智子	黒谷 末吉
宇都木芳男	浦田佐代子

【篤行・善行児童生徒】(37名) (学校順)

黒磯小学校 6年 小池丈一郎	槻沢小学校 6年 小川 姫香	日新中学校 3年 高根澤 歩
稲村小学校 6年 前田 大翔	東小学校 6年 小野田 樹	日新中学校 3年 福武 直也
東原小学校 6年 西村 佳純	南小学校 6年 久利生 茉奈	東那須野中学校 3年 小森 寛人
埼玉小学校 6年 齋藤 朱光	西小学校 6年 印南 宙来	東那須野中学校 3年 鈴木 莓
豊浦小学校 6年 大野 稜真	大山小学校 6年 中山 美優	高林中学校 3年 関谷 拓実
共英小学校 6年 能戸 天音	関谷小学校 6年 高塩百合香	三島中学校 3年 石山 なな
鍋掛小学校 6年 渡邊 映莉	大貫小学校 6年 弓井 星穂	三島中学校 3年 福田 旺亮
大原間小学校 6年 白井 佑来	塩原小中学校 6年 塩谷 良太	西那須野中学校 3年 林 彩莉
波立小学校 6年 小瀧 悠	黒磯中学校 3年 高久 千都	西那須野中学校 3年 小笠原優人
高林小学校 6年 栗山 癒月	黒磯北中学校 3年 齋藤 亜妃	箒根中学校 3年 高橋 空音
青木小学校 6年 青木 心言	黒磯北中学校 3年 原 天夏	塩原小中学校 9年 工藤 直哉
三島小学校 6年 熊谷 定哲	厚崎中学校 3年 上田 瑠奈	
三島小学校 6年 田村 海典	厚崎中学校 3年 三本木陽芽	

那須塩原市社会福祉協議会会長感謝

【高額寄付者】(団体等21) (敬称略・50音順)

株式会社オカモト	塩原ロータリークラブ	那須塩原交通安全協会常根支部女性部	ブリヂストン労働組合栃木支部
菊池産業株式会社	心美会	なすしん共栄会	三川 和洋
株式会社クワバラ・パンぶキン	株式会社創建	西那須野商工会女性部	イトロ三丁目株式会社鈴木モータース
県北歌謡ふれあいの会	高林生きがいサロン	ニラク大田原加治屋店	
コーヒーカップ&虹の会	東レ株式会社那須工場	美術グループくろいそ	
ZAPP西那須野	ナルクなすのやしお会	藤田 正夫	

那須塩原市老人クラブ連合会会長表彰

(敬称略・50音順)

【優良老人クラブ】(1団体)

青木福寿会

【老人クラブ育成功労者】(4名)

大草 直治：君島 君代：五味 潤 範：高橋 一郎

ボランティアセンターだより

令和2年度 ボランティアセンター講座・イベントのご案内

令和2年度にボランティアセンターが開催するボランティア講座やイベントをご案内します。

講座の詳細や申込方法などは、随時「社協ホームページ」「広報なすしおばら」などでお知らせしていきます。

みなさまのご参加お待ちしております。



	講座・イベント名	内 容	開催予定
1	傾聴講座	傾聴とは、相手の話に心を傾け聴くことです。傾聴の基本や技術などを講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。	6月下旬～7月中旬頃 (全4回予定)
2	中学生・高校生ボランティアサマースクール	中学生・高校生を対象とした、ボランティア体験講座です。高校生は、地域の福祉施設等でのボランティア活動、中学生は、地域のボランティアと一緒にボランティア体験講座を行います。(参加コースによって、日程が変わります)	7月下旬～8月上旬頃
3	夏休み小学生親子ボランティア教室	小学生の親子を対象とした、ボランティア体験教室です。親子で体験し、福祉やボランティアについて一緒に考えてみませんか。	8月上旬頃
4	夏休み小学生福祉体験教室	小学生を対象とした、福祉体験教室です。地域のボランティアや当事者と一緒に福祉について体験し、学んでみましょう！	8月中旬頃
5	災害ボランティア講座	災害はいつ私たちの身に降りかかるかわからない状況です。日頃から出来る対策や災害ボランティアについて学ぶ講座です。	10月頃 (全2回予定)
6	ボランティア交流会	ボランティアの交流などを目的に、交流カフェや講座など様々なイベントを開催します。	随時開催 (年8回予定)

※都合により中止や延期になる場合もございます。

令和2年度ボランティア活動保険のご案内

近年地域で活躍するボランティアや自然災害が発生した際に被災地で様々な活動を担う災害ボランティアが増加しております。それに伴いボランティア活動中の事故も増加しております。

当社協も皆様が安心してボランティア活動が行えるように次のとおりボランティア活動保険の加入手続きについて一部見直しを行いました。

令和2年度のボランティア活動保険に加入を検討している方は、ボランティアセンターへの登録や活動内容の届け出が必要となるなど加入方法や条件が変更となります。

保険の加入方法や条件、その他詳細については、ボランティアセンター本所、ボランティアセンター黒磯又は社協塩原支所までお問い合わせください。

※ボランティア行事保険や各種サービス補償の加入手続きの方法も一部見直ししました。

◆ボランティア活動保険にご加入いただける方

ボランティアセンター登録者・登録団体

◆ボランティア活動保険の対象となるボランティア活動

日本国内における、自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動でボランティアセンターに登録し、届け出されている活動が保険・補償の対象となります。

◆補償期間

加入手続き完了日の翌日午前0時から令和3年3月31日午後12時まで

◆保険料（年間／1人）

タイプ	基本タイプ	天災タイプ
年間保険料	350円	500円

※これまでの4プラン(基本タイプA・B、天災タイプA・B)から2プラン(基本タイプ、天災タイプ)になりました。

※天災タイプは、天災(地震・噴火・津波)によるケガも補償



ご協力ありがとうございました。

令和元年度社会福祉協議会会費 最終報告

昨年5月から令和元年度社会福祉協議会の会員加入のお願いをしたところ、多くのみなさまのご協力により、普通会費・特別会費・施設会費をあわせ **12,541,600円**（3月31日現在）となりました。

会費は、地域福祉事業を支える大切な財源です。令和2年度もご協力よろしくお願いします。
（令和元年11月1日～令和2年3月31日受付分）

特別会員（法人事業所） 12件 56,000円 敬称略（振込書の名称に基づいています）・順不同

【10,000円】 ㈲雅プランニング/㈱むつみコーポレーション

【6,000円】 ㈲ライフ那須/千葉防災設備

【3,000円】 ㈱サイトウ化成/栃木県北通運㈱/㈲ティ・エヌ・イーサービス/心づくしの宿ぬりや
㈱ハニー牧場/㈱佐治商店/オグレ商事㈱/㈲石川商店



令和2年度日本赤十字社活動資金ご協力のお願い

みなさまからご協力いただいた会費は、国内外における災害救護活動や社会福祉事業などに使わせていただきます。今年度もみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

日本赤十字社の「協力会員」とは、赤十字の人道的な活動に賛同し、目安として年額500円以上の資金協力をしていただく方のことです。個人・法人を問わず、どなたでも会員になることができます。赤十字事業の原動力であり、組織の根幹をなすもので、日本赤十字社では一人でも多くの方に会員になっていただけるようお願いしています。

「日赤会費」及び「義援金」のご協力ありがとうございました。【令和2年度 最終報告】

日赤会費 11,308,050円 （3月31日現在）

災害義援金は、日本赤十字社を通じて被災された方々へ届けられます。なお、東日本大震災義援金につきましては3年3月31日まで、令和元年台風第15号災害義援金につきましては2年6月30日まで、令和元年台風第19号災害義援金につきましては3年3月31日まで、日本赤十字社にて受付を延長いたしました。引き続きみなさまの義援金へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。
（3月31日現在）

東日本大震災義援金 29,191円

令和元年台風第19号災害義援金 225,924円

令和元年台風第15号災害義援金 31,578円

平成30年7月豪雨災害義援金 50円

平成30年北海道胆振東部地震災害義援金 499円

ありがとうございます



令和元年9月15日～令和2年3月31日現在（敬称略・順不同）

東日本大震災義援金	第14回チャリティハンドメイドマーケット	29,191円
令和元年台風第19号 災害義援金	募金箱（福祉祭）	14,745円
	東遅沢むらおこし推進協議会	10,000円
	法真寺	10,000円
	東那須野地区婦人会	10,000円
	狩野地区自治会長会	3,238円
	(有)橋本家畜診療所	100,000円
	第14回チャリティハンドメイドマーケット	29,191円
	西那須野南部地区北部地区民生委員児童委員協議会	20,000円
	新日本婦人の会西那須野支部	3,000円
	本会募金箱	25,750円
令和元年台風第15号 災害義援金	東遅沢むらおこし推進協議会	10,000円
	榊原庄七	1,500円
	本会募金箱	20,078円
平成30年7月豪雨災害義援金	本会募金箱	50円
平成30年北海道胆振東部地震 災害義援金	匿名	110円
	本会募金箱	389円

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご協力ありがとうございました。【令和元年度 最終報告】

10月1日から始まりました共同募金運動は、みなさまのご協力により多くの募金が集まりました。

赤い羽根共同募金は、県内の社会福祉施設の整備や地域福祉活動に充てられ、社会福祉の向上に大きな役割を果たしています。また、歳末たすけあい募金は市内で生活に困窮している方々などへ配分されました。

赤い羽根共同募金	11,677,639円	【法人募金】(医)修英会中川医院／(有)田建 インテリアサワ(1月1日～3月31日受付分)
歳末たすけあい募金	7,010,545円	



誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点 **福祉協力店**

令和元年12月1日～令和2年2月29日までに、次の事業所にご登録いただきました。

事業所の名称（敬称略）	協力内容				
	①	②	③	④	⑤
合同会社 実悠マート					
株式会社野田新聞販売					
(有)雪印室井牛乳店					

- 取組内容
- ①社協だより、ボランティア情報誌の設置
 - ②募金箱の設置
 - ③社協が実施する事業等のポスター掲示
 - ④社協が運営する施設の製品販売
 - ⑤その他、地域福祉への協力

地域支え合い推進員 貫井は見た!!!

(稲村公民館区担当)

今回は、稲村地区の地域支え合い推進員が地域の活動『西新町自治会』を皆さまに紹介します。西新町自治会は、稲村公民館区26自治会ある中でいち早く見守り活動(声かけ運動)・防犯パトロールに取り組んだ自治会で、犯罪から地域を守ることはもちろん、地域に住む高齢者や何らかの手助けを必要としている方々を見守り、地域ぐるみで支援していこうと、日々、活動されています。また、稲村公民館にて介護予防・健康維持を目的とした「いきいき百歳体操」・「かみかみ百歳体操」を行っており毎回多くの方が参加。体操終了後には必ず茶話会を設け、お茶を片手にみなさん大盛り上がり！おしゃべりを楽しんでいます。地域の関わりが希薄化してきている中、西新町はこれから「人と人とのつながり」を大切に、自分たちで自分たちの地域をより良くしていこうと元気いっぱい積極的に活動していきます！



このコーナーは、地域支え合い推進員が地域で取り組んでいる様々な活動を紹介します。



自主防犯パトロール



百歳体操の様子

今後もあなたの地域の「宝物」となるような活動を見つけに行きます!



誰もが陥る可能性があります

～生活困窮者自立支援事業から～

Vol.⑫

第二弾は、40代から50代における生活困窮のリスクを説明していきます。

仕事をするのが不安

失業して、住宅ローンが払えない



子どもの進学費用が準備できない

親の介護が必要になった。自分の体調も不安。

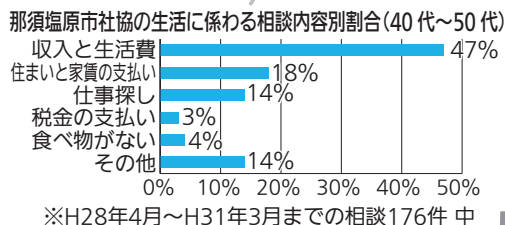
40代から50代の方のお困りごとの特徴

この世代では、子どもの進学にかかる教育費が増え、家や車のローンなどと重なって、家計の負担が大きくなってきます。さらには自身の病気や親の介護により、思うように仕事ができなくなる方など、周りの環境の変化によっても生活困窮に陥るリスクが高まる特徴があります。また、失業すると年齢的に再就職先が見つけにくくなることや、失業前より収入が低くなる傾向があり、生活の見直しや改善を考えていく必要があります。



※生活困窮に陥らないためには…

- ◎子どもの未来のため、計画的に蓄えましょう。
- ◎ローンは将来的なリスクも考えましょう。
- ◎「家族会議」で「イマ」と「ミライ」を話し合しましょう。
- ◎1人で悩まずに、誰かに相談してみましょう。



社協は「生活の見直しと改善」の相談窓口です。あなたのこれからのことを一緒に考えていきます。

社会福祉協議会 生活支援係 TEL0287-37-6833 (直通) E: seikatsu@ns-shakyou.jp

～お知らせ～

今年度から社協だよりの発行回数が年6回から4回に変更になります。発行日は、4月20日、7月20日、10月20日、1月20日となります。今後とも社協だよりをよろしくお願いいたします。



発行 社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会

住所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5丁目163番地 (健康長寿センター内)

TEL 0287-37-5122 FAX 0287-36-8710

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/> Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp



この社協だよりは、地域のみなさまからのご寄付や会費が財源となっています。